

調査票1

政策分野	(1) 医療
連携目標	① 地域医療の連携強化
連携事業	1 准看護学校補助事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	利根沼田地区の看護教育機関として、地域住民に貢献する准看護師を養成するため、圏域内自治体の5市町村で一般社団法人沼田利根医師会沼田准看護学校の運営費の一部を補助する。
------	---



(指標 1) 沼田准看護学校の入学者数		現状値 R元年度	24人	目標値 R7年度	24人
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
沼田准看護学校の入学者数	26人	15人	14人	11人	15人
目標の達成度	108.3%	62.5%	58.3%	45.8%	62.5%

進捗状況	やや順調
------	------

(指標 2) 卒業者の医療事業への従事者数		現状値 R元年度	50%	目標値 R7年度	50%
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
沼田准看護学校の卒業者数	20人	19人	12人	10人	11人
卒業者の医療事業への従事者数	14人	14人	8人	7人	8人
卒業者の医療事業への従事率	70%	74%	67%	70%	73%
目標の達成度	140.0%	147.4%	133.3%	140.0%	145.5%

進捗状況	順調
------	----

調査票1

事業費					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	2,052 千円	2,052 千円	2,052 千円	2,052 千円	2,052 千円
実績（沼田市）	905 千円	905 千円	905 千円	906 千円	906 千円
実績（片品村）	81 千円	81 千円	81 千円	81 千円	81 千円
実績（川場村）	72 千円	72 千円	35 千円	28 千円	73 千円
実績（昭和村）	105 千円	104 千円	104 千円	105 千円	106 千円
実績（みなかみ町）	192 千円	192 千円	192 千円	137 千円	191 千円
実績	1,355 千円	1,354 千円	1,317 千円	1,257 千円	1,357 千円
差額	-697 千円	-698 千円	-735 千円	-795 千円	-695 千円

◎「一般社団法人沼田利根医師会沼田准看護学校」について

修学年限2年、1学年24人の少人数制で、生徒の多くは働きながら准看護師の資格取得をめざし勉学に励んでいる、卒業生の多くは地元医療機関への就職の他、看護師資格を得るため進学する生徒も多い。昭和31年4月に開校して以来、現在まで多くの卒業生を輩出し、地域医療の向上に貢献している。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	卒業生の8割が医療事業へ従事し、地域医療サービス向上に貢献している。	前年度と比較すると医療事業への従事率が減少した。進学率は16%。進学者が当地域に戻り、医療事業に貢献することは考えられる。	年々入学者数は減少。進学率は83.3%（7人は市内の病院に勤務しながら准看護学校に通学し、進学後も病院に勤務）進学者が当地域に戻り、医療事業に貢献することを期待する。	年々入学者数は減少。進学率は60.0%（3人は市内の病院に勤務しながら准看護学校に通学し、進学後も病院に勤務）。進学者が当地域に戻り、医療事業に貢献することを期待する。	入学者の増加や卒業生の7割以上が医療事業に従事していることなどから、地域医療の向上に貢献していると考えられる。
「来年度」以降の取組予定	事業運営費の補助を行い、修学環境の整備・向上を図る。	事業運営費の補助を行い、修学環境の整備・向上を図る。	事業運営費の補助を行い、修学環境の整備・向上を図る。	事業運営費の補助を行い、修学環境の整備・向上を図る。	事業運営費の補助を行い、修学環境の整備・向上を図る。

調査票 2

政策分野	(1) 医療				
連携目標	① 地域医療の連携強化				
連携事業	2 第 2 次救急医療体制の維持及び確保				
連携自治体	沼田市 ○	片品村 ○	川場村 ○	昭和村 ○	みなかみ町 ○
事業内容	入院治療を必要とする重症の救急患者に対応するため、病院群輪番制による第 2 次救急医療体制の整備・運営費の一部を補助する。				



(指標 1) 参加医療機関数		現状値 R元年度	7	目標値 R7年度	7
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
参加医療機関数	7	7	7	7	7
目標の達成度		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

進捗状況	順調
------	----

(指標 2) 救急患者対応数 [延べ数]		現状値 R元年度	17,283件	目標値 R7年度	17,283件
医療機関名	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
沼田病院	1,130件	1,046件	1,812件	1,879件	924件
利根中央病院	7,790件	8,854件	8,278件	8,647件	8,592件
群馬パース病院	273件	147件	337件	264件	316件
内田病院	60件	60件	48件	222件	203件
沼田脳神経外科	4,045件	6,444件	4,419件	4,101件	3,796件
月夜野病院	1,436件	1,650件	1,457件	1,655件	1,653件
上牧温泉病院	10件	10件	32件	36件	40件
救急患者対応数 (合計)	14,744件	18,211件	16,383件	16,804件	15,524件
目標の達成度[%]		85%	105%	95%	97%

進捗状況	順調
------	----

調査票 2

事業費					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	11,383 千円	11,383 千円	11,383 千円	11,383 千円	11,383 千円
実績（沼田市）	6,643 千円	6,678 千円	6,678 千円	6,538 千円	6,678 千円
実績（片品村）	599 千円	704 千円	704 千円	692 千円	704 千円
実績（川場村）	497 千円	512 千円	512 千円	178 千円	512 千円
実績（昭和村）	1,003 千円	1,025 千円	1,025 千円	1,003 千円	1,808 千円
実績（みなかみ町）	2,641 千円	2,533 千円	2,533 千円	4,468 千円	2,533 千円
実績	11,383 千円	11,452 千円	11,452 千円	12,879 千円	12,235 千円
差額	0千円	69千円	69千円	1496千円	852千円

◎「病院群輪番制による第2次救急医療体制」について

救急車による直接搬送、又はかかりつけの診療所など初期救急医療機関から転送されてくる重症救急患者に対応するため、休日や夜間に対応できる病院が日を決めて順番に輪番制で対応する制度。これにより重症患者の迅速な受け入れが可能となり救急医療体制の確保が図られる。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	救急医療受け入れ体制が整備され、入院治療を必要とする重症の救急患者に対応し地域医療の向上が図れた。	昨年度と同様に、救急医療受け入れ体制が整備され、入院治療を必要とする重症の救急患者に対応し地域医療の向上が図れた	救急医療受け入れ体制が整備され、入院治療を必要とする重症の救急患者に対応し地域医療の向上が図れた。	救急医療受け入れ体制が整備され、入院治療を必要とする重症の救急患者に対応し地域医療の向上が図れた。	救急医療受け入れ体制が整備され、入院治療を必要とする重症の救急患者に対応し地域医療の向上が図れた。
「来年度」以降の取組予定	救急医療体制整備のため、病院群輪番制の運営を補助し、体制の整備・維持を図る。	引き続き救急医療体制整備のため、病院群輪番制の運営を補助し、体制の整備・維持を図る。	救急医療体制整備のため、病院群輪番制の運営を補助し、体制の整備・維持を図る。	救急医療体制整備のため、病院群輪番制の運営を補助し、体制の整備・維持を図る。	救急医療体制整備のため、病院群輪番制の運営を補助し、体制の整備・維持を図る。

調査票 3

政策分野	(1) 医療
連携目標	② 地域医療体制維持の維持・充実
連携事業	1 周産期医療体制維持補助事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域内における周産期医療体制維持のため、圏域内の病院又は診療所における、通常分娩を行う産婦人科医師を確保する費用の財政支援をする。
------	---

(指標1) 産婦人科医指数 [利根中央病院]		現状値 R4年度	3	目標値 R7年度	3
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
医師数			5	5	6

目標の達成度 166.7% 166.7% 200.0%

進捗状況	順調
------	----

事業費					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込			10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円
実績 (沼田市)			4,682 千円	4,680 千円	4,690 千円
実績 (片品村)			968 千円	970 千円	968 千円
実績 (川場村)			821 千円	823 千円	824 千円
実績 (昭和村)			1,161 千円	1,165 千円	1,161 千円
実績 (みなかみ町)			2,368 千円	2,362 千円	2,357 千円
実績	千円	千円	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円

差額 0千円 0千円 0千円

調査票 3

◎「周産期医療体制維持補助事業」について

令和5年度から新たに開始した補助事業。常時分娩を取り扱う病院等のうち、産科医師を雇用する病院に対し、補助金を交付するもの。

補助対象：産科医師の雇用に要する経費のうち給与にかかる費用

補助金額：1,000万円を限度として、上記費用の1/2

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果			産科医が増員され、圏域の周産期医療体制の維持・向上が図れた。	常勤医師1名が育休、産休取得中であったが、欠員なく周産期医療体制が維持できた。	常勤医師1名が育休、産休取得中であったが、欠員なく周産期医療体制が維持できた。
「来年度」以降の取組予定			産科医師雇用により、周産期医療体制の整備・維持を図る。	産科医師雇用により、周産期医療体制の整備・維持を図る。	産科医師雇用により、周産期医療体制の整備・維持を図る。

調査票 4

政策分野	(2) 福祉
連携目標	① 子育て支援の充実
連携事業	1 地域子育て支援拠点事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○			

事業内容	圏域内の子育て支援の充実を図るため、別表第1に定める地域子育て支援拠点の広域利用を図る。
------	--



(指標1) 利用者数 [延べ数]		現状値 R元年度	24,805人	目標値 R7年度	24,805人
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
子ども広場	10,106人	9,272人	11,134人	12,036人	13,363人
チャイルドハウスめぐみ	1,327人	836人	1,145人	1,247人	1,147人
沼田幼稚園子育て支援センター	1,143人	1,382人	1,481人	1,311人	1,867人
利用者数 (合計)	12,576人	11,490人	13,760人	14,594人	16,377人
目標の達成度	50.7%	46.3%	55.5%	58.8%	66.0%
進捗状況	やや順調				

事業費					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	25,938 千円	25,938 千円	25,938 千円	25,938 千円	25,938 千円
実績 (沼田市)	26,344 千円	26,344 千円	27,141 千円	28,192 千円	29,191 千円
実績 (片品村)	—	—	—	—	
実績 (川場村)	—	—	—	—	
実績 (昭和村)	—	—	—	—	
実績 (みなかみ町)	—	—	—	—	
実績	26,344 千円	26,344 千円	27,141 千円	28,192 千円	29,191 千円
差額	406 千円	406 千円	1,203 千円	2,254 千円	3,253 千円

◎「子育て支援拠点」について					
小学校就学前の子どもとその保護者を対象に、遊んだり、交流するスペースを提供したり、子育て相談や子育て情報の提供などを行う事業を「沼田めぐみこども園 チャイルドハウスめぐみ」「沼田幼稚園子育て支援センター」「子ども広場」の3ヶ所に委託して実施しているもの。居住地に関わらず、利用登録をすれば、無料で利用できる。					

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、電話相談のみ実施したり、利用者を予約制にする等、事業の実施方法を工夫した。	利用者数が前年より減少したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、年間を通じ、予約制を継続する等安心して利用してもらえることも重視し、実施方法を工夫して事業を実施した。	新型コロナウイルス感染症の5類移行後も、安心して利用してもらえることを意識し、予約制を継続する等、実施方法を工夫して事業を実施した。	感染症対策、安全対策として予約制を継続して実施。空きがあれば予約なしでも利用できるなど実施方法を工夫して利用者増にも努め事業を実施した。	感染症対策、安全対策として予約制を継続して実施しているが、スペースに余裕があれば予約なしでも利用できるように対応した。また、月に1回試験的に日曜日の開所を行うなど、実施方法を工夫して利用者増に努め事業を実施した。
「来年度」以降の取組予定	新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、絵本の読み聞かせや親子ビクス等体験プログラムを多く実施できるように促していきたい。	絵本の読み聞かせや親子ビクス等体験プログラムの実施も増えてきたので、必要な感染対策等は継続しながら、より多く実施できるように促していきたい。	各施設が創意工夫を行いプログラム等を実施するため、今後も必要な感染対策等は継続しながら、より多く実施できるように促していきたい。	今後も必要な感染対策等は継続し、戸外活動などの行事を取り入れるなど各施設が創意工夫を行いプログラム等を実施する計画。より多く実施できるように促していきたい。	今後も必要な感染対策等は継続し、各施設が創意工夫を行ったプログラム等を実施する計画。子ども広場では、月1回程度の日曜日開所を継続し、より多くの人々が施設を利用できるように取り組んでいきたい。

調査票 5

政策分野	(2) 福祉
連携目標	① 子育て支援の充実
連携事業	2 ファミリー・サポート・センター事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域内の子育て支援の充実を図るため、ファミリー・サポート・センター事業を圏域内の住民を対象に実施する。
------	---

(指標 1) 利用者数 [延べ数]		現状値 R元年度	446人	目標値 R7年度	446人
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
利用者数	266人	229人	143人	48人	47人
目標の達成度	59.6%	51.3%	32.1%	10.8%	10.5%
進捗状況	遅れ				

事業費					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	3,660 千円	3,660 千円	3,660 千円	3,660 千円	3,660 千円
実績（沼田市）	3,660 千円	3,660 千円	3,660 千円	3,187 千円	3,170 千円
実績（片品村）	—	—	—	48 千円	50 千円
実績（川場村）	—	—	—	58 千円	57 千円
実績（昭和村）	—	—	—	127 千円	129 千円
実績（みなかみ町）	—	—	—	240 千円	256 千円
実績	3,660 千円	3,660 千円	3,660 千円	3,660 千円	3,662 千円
差額	千円	千円	千円	千円	2 千円

◎「ファミリー・サポート・センター」について					
「子育てを手伝ってほしい人（お願い会員）」と「子育てを手伝いたい人（まかせて会員）」が会員になって、一時的な子どもの世話を有料で行うシステムを「NPO法人 尾瀬なでしこの会」に委託して実施しているもの。お願い会員は、生後3ヶ月から小学校6年生までの子どもの保護者で市内及び利根郡内在住・在勤の者、まかせて会員は、市内及び利根郡内在住・在勤で自宅などで子どもを預かれる者。					

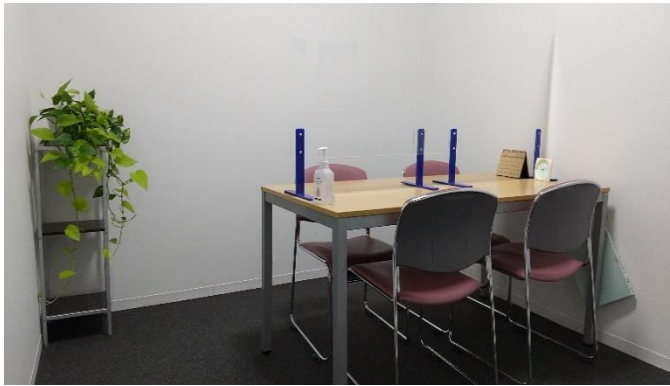
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まった令和2年度の実績から比べると徐々に利用者が増えてきたものの、感染を心配して利用が伸び悩んだ。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、利用を控える傾向が続き、前年より利用者数が減少した。	新型コロナウイルス感染症の5類移行後も利用を控える状況が見られた。また、令和2年度から利用者が減ったことで、まかせて会員に登録していた者が他職種に就職してしまう等、まかせて会員離れもみられた。	新型コロナウイルス感染症の5類移行後も利用を控える状況が見られた。また、お願い会員の登録者数が減ったことにより、利用者数が伸び悩んだ。	連携している町村と担当者会議を実施し、意見交換や課題等を共有することができた。各自治体で会員の登録数を増やすため、周知等の取り組みを行っているが、現在も利用者数の伸び悩みが続いている。
「来年度」以降の取組予定	新型コロナウイルスの感染状況をみながら、会員のスキルアップ講座を積極的に開催するよう促していきたい。	新型コロナウイルス感染症の感染状況をみながら、改めて事業の周知を図るとともに、会員のスキルアップ講座を積極的に開催したい。	必要な感染対策を取りながら事業を推進するとともに、改めて事業の周知を図りたい。また、会員の登録数を増やせるように、魅力あるスキルアップ講座を開催する等、工夫した事業展開ができるように促していきたい。	連携している町村との担当者会議を実施し、それぞれの市町村が会員の登録数を増やすよう取り組みを行うとともに事業の周知を図りたい。また、会員のスキルアップ講座を積極的に開催する等、工夫した事業展開ができるように促していきたい。	相互援助活動による事業であることから、各自治体の住民の会員登録数を増やす取り組みを継続して行いたい。また、様々な機会を捉えて事業の周知を図り、利用しやすい環境を整えたい。

調査票 6

政策分野	(2) 福祉
連携目標	② 障がい者福祉の推進
連携事業	1 利根沼田障害者相談支援センター運営事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域内の障害のある人の自立した日常生活及び社会生活を支援するため、情報の提供や権利擁護の支援を行う利根沼田障害者相談支援センターを設置し、地域生活支援事業を実施する。
------	---



(指標 1) 相談支援人数 [延べ数]		現状値 R元年度	3,820人	目標値 R7年度	3,820人
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
相談支援人数 (沼田市の方)	3,701人	2,970人	3,094人	3,262人	3,080人
相談支援人数 (片品村の方)	99人	105人	142人	88人	137人
相談支援人数 (川場村の方)	170人	118人	113人	126人	76人
相談支援人数 (昭和村の方)	478人	238人	274人	240人	242人
相談支援人数 (みなかみ町の方)	979人	1,057人	1,020人	922人	993人
相談支援人数 (合計)	5,427人	4,488人	4,643人	4,638人	4,528人
目標の達成度	142.1%	117.5%	121.5%	121.4%	118.5%
進捗状況	順調				

調査票 6

事業費

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	26,962 千円	26,962 千円	26,962 千円	29,658 千円	29,658 千円
実績（沼田市）	14,734 千円	14,734 千円	14,734 千円	16,207 千円	16,318 千円
実績（片品村）	1,858 千円	1,858 千円	1,858 千円	2,044 千円	1,978 千円
実績（川場村）	1,501 千円	1,501 千円	1,501 千円	1,651 千円	1,800 千円
実績（昭和村）	2,697 千円	2,697 千円	2,697 千円	2,967 千円	3,005 千円
実績（みなかみ町）	6,172 千円	6,172 千円	6,172 千円	6,789 千円	6,557 千円
実績	26,962 千円	26,962 千円	26,962 千円	29,658 千円	29,658 千円
差額	千円	千円	千円	千円	千円

◎「利根沼田障害者相談支援センター」について

障害のある人、保護者、支援者などからの相談に応じ、福祉サービスの利用や生活上の様々な相談、権利擁護のために必要な支援をおこなっている。利根沼田5市町村で共同でセンターを設置している（テラス沼田6階）。

事業形態は委託事業で、各市町村がそれぞれ同一の社会福祉法人と委託契約を締結。委託総額の10％を平均割とし、90％を人口割として按分で負担している。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	コロナ禍ではあったが、目標値に近い相談者があった。相談支援専門員の質の向上を目指していきたい。	コロナ禍ではあったが、目標値を超える相談があった。今後は相談支援専門員の質の向上を目指したい。	目標値を超える相談件数があった。今後も引き続き相談支援専門員の質の向上を図りたい。	目標値を超える相談件数があった。今後も引き続き相談支援専門員の質の向上を図りたい。	目標値を超える相談件数があった。相談内容は年々複雑化していることから、相談支援専門員の質の向上を図れるにしたい。
「来年度」以降の取組予定	引き続き、5市町村の共同で設置・運営をおこなっていく。	引き続き、5市町村の共同での設置・運営をおこなっていく。	引き続き、5市町村の設置・運営をおこなっていく。	引き続き、5市町村の設置・運営をおこなっていく。	引き続き、5市町村の設置・運営をおこなっていく。

調査票 7

政策分野	(2) 福祉
連携目標	② 障がい者福祉の推進
連携事業	2 あおぞら作業所運営事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域内の障害のある人等に創作的活動又は生産活動の機会を提供するとともに、社会との交流を促進するため、地域活動支援センターを設置、運営する。
------	---



(指標 1) 通所者数 [延べ数]		現状値 R元年度	1, 950人	目標値 R7年度	1, 950人	
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
通所者数 (沼田市の方)	1, 247人	1, 338人	1, 199人	1, 305人	1, 192人	
通所者数 (片品村の方)	192人	8人	2人	0人	39人	
通所者数 (川場村の方)	0人	0人	0人	0人	人	
通所者数 (昭和村の方)	109人	2人	0人	1人	239人	
通所者数 (みなかみ町の方)	237人	225人	148人	105人	341人	
通所者数 (合計)	1, 785人	1, 573人	1, 349人	1, 411人	1, 811人	
目標の達成度		91. 5%	80. 7%	69. 2%	72. 4%	92. 9%
進捗状況		順調				

調査票 7

事業費

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	12,167 千円	12,167 千円	12,167 千円	12,167 千円	12,167 千円
実績（沼田市）	6,465 千円	6,758 千円	7,246 千円	7,819 千円	7,982 千円
実績（片品村）	1,000 千円	604 千円	269 千円	205 千円	229 千円
実績（川場村）	577 千円	578 千円	567 千円	569 千円	172 千円
実績（昭和村）	1,615 千円	1,550 千円	1,523 千円	1,525 千円	1,783 千円
実績（みなかみ町）	2,510 千円	2,677 千円	2,562 千円	2,049 千円	2,001 千円
実績	12,167 千円	12,167 千円	12,167 千円	12,167 千円	12,167 千円
差額	千円	千円	千円	千円	千円

◎「あおぞら作業所」について

地域生活支援事業の一つである地域活動支援センターとして、テラス沼田 1 階に設置。精神障害のある人に創作的活動、生産活動の機会・場を通所により提供している。
あおぞら作業所は、平成 19 年度から利根沼田 5 市町村による共同設置で、沼田市が主体となり、NPO 法人に委託し、各町村から負担金を徴収し事業を実施している。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	コロナ禍ではあったが、目標値に近い利用者があった。サービスの質の向上を目指していきたい。	コロナ禍であり、通所者数は大きく減少した。利用者数の増加とサービスの質の向上を図りたい。	利根沼田地区に選択できる事業所が増えたことやコロナ禍もあり、通所者数が減少した。 サービスの質の向上や選択される事業所作りを引き続きおこなっていく。	利根沼田地区に事業所が増えたことなどにより、利用者は選択肢が増えた。昨年よりは若干通所者数は増加した。 引き続き、サービスの質の向上や選ばれる事業所作りを引き続きおこなっていく。	利根沼田地区に事業所が増えたことなどにより、利用者は選択肢が増えた。また、前年度より沼田市以外の利用者が増えた。 引き続き、サービスの質の向上に努めていきたい。
「来年度」以降の取組予定	引き続き、5市町村の共同で設置・運営をおこなっていく。	引き続き、5市町村の共同で設置・運営を図っていく。	引き続き、5市町村の共同で設置・運営を図っていく。	引き続き、5市町村の共同で設置・運営を図っていく。	引き続き、5市町村の共同で設置・運営を図っていく。

調査票 8

政策分野	(3) 教育
連携目標	① 教育環境の整備・充実
連携事業	1 利根沼田学校組合立高等学校運営事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域内において高等教育を受ける環境を整備し、地域社会を支える人材を育成するため、利根沼田学校組合立利根商業高等学校に対し運営支援を行う。
------	--



(指標1) 卒業生数		現状値 R元年度	136人	目標値 R7年度	150人
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
卒業生数	147人	138人	131人	127人	116人
目標の達成度	98.0%	92.0%	87.3%	84.7%	77.3%

進捗状況	やや順調
------	------

事業費					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	3,580 千円	3,580 千円	3,580 千円	3,580 千円	3,580 千円
実績（沼田市）	1,310 千円	1,470 千円	1,300 千円	1,120 千円	790 千円
実績（片品村）	60 千円	20 千円	20 千円	20 千円	10 千円
実績（川場村）	130 千円	110 千円	70 千円	60 千円	40 千円
実績（昭和村）	260 千円	170 千円	150 千円	120 千円	90 千円
実績（みなかみ町）	1,620 千円	1,580 千円	1,710 千円	1,610 千円	1,450 千円
実績	3,380 千円	3,350 千円	3,250 千円	2,930 千円	2,380 千円
差額	-200 千円	-230 千円	-330 千円	-650 千円	-1,200 千円

◎「利根沼田学校組合立高等学校」について

昭和33年、利根郡市町村長会において学校法人として設立することが満場一致で可決され開校となった高等学校。その後、昭和47年に利根沼田9市町村連名にて、一部事務組合設立認可を県知事に申請、利根沼田学校組合が認可され、昭和48年に「利根沼田学校組合立利根商業高等学校」として設立認可された。平成29年4月には、普通科も新設されている。

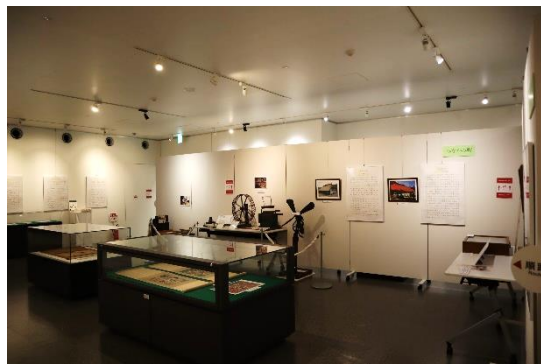
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	負担金により高等学校の運営支援を行い、地域社会を支える人材育成に資することができた。	負担金により高等学校の運営支援を行い、地域社会を支える人材育成に資することができた。	負担金により高等学校の運営支援を行い、地域社会を支える人材育成に資することができた。	学校組合立の特性を活かし、地域の特色を反映した教育を推進。負担金補助により、充実した学校運営と多様な教育の実現に寄与した。	学校組合立の特性を活かし、地域の特色を反映した教育を推進。負担金補助により、充実した学校運営と多様な教育の実現に寄与した。
「来年度」以降の取組予定	高校再編の県の動向を注視しながら、事業内容を検討していく。	高校再編の県の動向を注視しながら、事業内容を検討していく。	高校再編の県の動向を注視しながら、事業内容を検討していく。	地域ニーズや若者の関心に応じた教育プログラムや部活動を導入し、地元企業との連携による就職支援や全国への情報発信を通じて、学校の魅力向上を図る。	高校再編の県の動向を注視しながら、事業内容を検討していく。

調査票 9

政策分野	(3) 教育
連携目標	② 文化財保存・活用の推進
連携事業	1 歴史資料展示施設の相互（広域）利用事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	文化財への住民理解と保護意識の向上のため、別表第2に定める施設において、圏域内の文化財（展示資料）等の相互貸借や講演会、講習会、研究会、体験学習等を連携して開催する。
------	---



(指標1) 企画展開催日数		現状値 R元年度	178日	目標値 R7年度	202日
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
沼田市歴史資料館	200日	215日	165日	148日	150日
川場村歴史民俗資料館	0日	0日	0日	0日	60日
昭和村公民館展示室	0日	0日	0日	0日	0日
みなかみ町月夜野郷土歴史資料館	60日	60日	30日	30日	0日
みなかみ町水上歴史民俗資料館	60日	0日	0日	0日	0日
企画展開催日数（合計）	320日	275日	195日	178日	210日
目標の達成度	158.4%	136.1%	96.5%	88.1%	104.0%
進捗状況	順調				

調査票 9

(指標 2) 観覧者数 [延べ数]		現状値 R元年度	9, 274人	目標値 R7年度	10, 210人
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
沼田市歴史資料館	3, 928人	3, 726人	3, 568人	4, 470人	4, 442人
川場村歴史民俗資料館	0人	0人	2, 241人	2, 569人	3, 236人
昭和村公民館展示室	0人	0人	0人	220人	270人
みなかみ町月夜野郷土歴史資料館	214人	269人	421人	533人	390人
みなかみ町水上歴史民俗資料館	—	25人	28人	5人	0人
観覧者数 (合計)	4, 142人	4, 020人	6, 258人	7, 797人	8, 338人

目標の達成度40. 6%39. 4%61. 3%76. 4%81. 7%

進捗状況	順調
------	----

事業費

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	12, 486 千円	8, 985 千円	8, 985 千円	8, 985 千円	8, 985 千円
実績 (沼田市)	8, 802 千円	7, 262 千円	7, 610 千円	1, 886 千円	4, 015 千円
実績 (片品村)	—	—	—	—	—
実績 (川場村)	—	—	1, 533 千円	1, 565 千円	1, 535 千円
実績 (昭和村)	1, 056 千円	402 千円	595 千円	906 千円	631 千円
実績 (みなかみ町)	4, 132 千円	2, 020 千円	2, 707 千円	2, 419 千円	2, 398 千円
実績	13, 990 千円	9, 684 千円	12, 445 千円	6, 776 千円	8, 579 千円

差額1, 504 千円699 千円3, 460 千円-2, 209 千円-406 千円

調査票 9

◎「歴史資料展示施設」について

観覧者に地域の歴史を理解してもらうため、貴重な歴史資料を収集・保存、展示することにより、地域文化の継承と活用を図る。
常設展示と企画展示、子ども体験教室や古文書講座などの実施。(沼田市)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	利根沼田に共通する絹遺産をテーマに、ぐんま絹遺産ガイドに掲載されているものを中心に各市町村を分けて展示した。(沼田市)	利根沼田に共通する縄文時代をテーマに、縄文時代の資料を中心に各市町村を分けて展示した。(沼田市)	企画展を行う際に、展示資料の一部を市内及び利根郡内の個人や寺院に協力していただき、展示を行った。(沼田市)	企画展を行う際に、展示資料の一部を市内及び利根郡内の個人や寺院に協力していただき、展示を行った。(沼田市)	企画展を行う際に、展示資料の一部を市内及び利根郡内の個人や行政区に協力していただき、展示を行った。(沼田市)
「来年度」以降の取組予定	利根沼田に共通する歴史遺産をテーマに、企画展示を開催する。(沼田市)	利根沼田に共通する歴史遺産をテーマに、企画展示を開催する。(沼田市)	地域の歴史を理解してもらうため、企画展の充実に務めたい。(沼田市)	地域の歴史を理解してもらうため、企画展の充実に務めたい。(沼田市)	地域の歴史を理解してもらうため、企画展の充実に務めたい。(沼田市)

調査票 1 0

政策分野	(3) 教育
連携目標	③ 図書サービスの充実
連携事業	1 図書館及び図書室の相互利用事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域内における読書活動等の推進と利便性向上のため、別表第 3 に定める図書館及び図書室の相互利用等、広域的な利活用を推進する。
------	---



(指標 1) 自治体外住民の利用者登録の数		現状値 R元年度	12, 000人	目標値 R7年度	13, 000人
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
沼田市立図書館	11, 997人	12, 155人	12, 276人	12, 411人	12, 506人
片品村図書室	—	—	—	3人	1人
川場村教育委員会事務局	58人	52人	90人	143人	361人
昭和村公民館図書室	1人	0人	0人	1人	2人
みなかみ町中央公民館図書室	—	—	—	—	—
みなかみ町水上公民館図書室	—	—	—	—	—
みなかみ町新治公民館図書室	—	—	—	—	—
みなかみ町カルチャーセンター児童図書室	—	—	—	—	—
自治体外住民の利用者数 (合計)	12, 056人	12, 207人	12, 366人	12, 558人	12, 870人

目標の達成度	92. 7%	93. 9%	95. 1%	96. 6%	99. 0%
--------	--------	--------	--------	--------	--------

進捗状況	順調
------	----

調査票 1 0

(指標 2) 自治体外住民への貸出数 [延べ数]		現状値 R元年度	50,000冊	目標値 R7年度	55,000冊
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
沼田市立図書館	57,950冊	62,150冊	61,411冊	62,902冊	60,591冊
片品村中央公民館図書室	—	—	—	17冊	2冊
川場村教育委員会事務局	146冊	61冊	83冊	331冊	226冊
昭和村公民館図書室	12冊	0冊	0冊	5冊	4冊
みなかみ町中央公民館図書室	—	—	—	—	—
みなかみ町水上公民館図書室	—	—	—	—	—
みなかみ町新治公民館図書室	—	—	—	—	—
みなかみ町カルチャーセンター児童図書室	—	—	—	—	—
自治体外住民への貸出数 (合計)	58,108冊	62,211冊	61,494冊	63,255冊	60,823冊

目標の達成度

105.7%

113.1%

111.8%

115.0%

110.6%

進捗状況	順調
------	----

事業費

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	64,352 千円	64,352 千円	64,352 千円	64,352 千円	64,352 千円
実績 (沼田市)	17,868 千円	17,745 千円		17,877 千円	17,223 千円
実績 (片品村)	361 千円	369 千円	252 千円	212 千円	185 千円
実績 (川場村)	5,900 千円	130 千円	25 千円	71 千円	169 千円
実績 (昭和村)	303 千円	297 千円	301 千円	301 千円	424 千円
実績 (みなかみ町)	—	—	—	—	—
実績	24,432 千円	18,541 千円	578 千円	18,461 千円	18,001 千円

差額

-39,920 千円

-45,811 千円

-63,774 千円

-45,891 千円

-46,351 千円

◎「図書サービスの相互利用事業」について

沼田市立図書館では、沼田市在住・在学・在勤の人及び利根郡内在住の人を対象として、利用者の登録を行っており、圏域内においては、相互に利用できる図書室もある。また、図書館及び図書室における相互貸借により、本の貸出も行っている。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	従来から利根郡内居住者の利用者登録が可能であり、図書館サービスの提供を行っている。 (沼田市)	圏域内の住民については、市民と同様に利用者登録を行うことにより、図書資料等の貸出を行っている。 (沼田市)	利根沼田圏域内住民について、利用者登録を行うことで資料貸出等、サービスの提供を行っている。 (沼田市)	利根沼田圏域内住民について、利用者登録を行うことで資料貸出等、サービスの提供を行っている。 (沼田市)	利根沼田圏域内住民について、利用者登録を行うことで資料貸出等、サービスの提供を行っている。 (沼田市)
「来年度」以降の取組予定	引き続き、利根郡内居住者の利用者登録及び図書館サービスの提供を行う。 (沼田市)	市民及び圏域内住民の利用者登録を推進するとともに、利用者サービスの充実に努める。 (沼田市)	引き続き圏域内住民の利用者登録を推進するとともに、より充実したサービスの提供に努める。 (沼田市)	引き続き圏域内住民の利用者登録を推進するとともに、より充実したサービスの提供に努める。 (沼田市)	引き続き圏域内住民の利用者登録を推進するとともに、より充実したサービスの提供に努める。 (沼田市)

調査票 1 1

政策分野	(3) 教育
連携目標	④ 生涯学習・スポーツ活動の推進
連携事業	1 スポーツ施設の相互利用事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域内住民が、スポーツを通じて健康の増進と体位の向上を図るため、別表第 4 に定めるスポーツ施設の相互利用等、広域的な利活用を推進する。
------	--



(指標 1) 施設利用者数 [延べ数]		現状値 R3年度	209, 963 人	目標値 R7年度	214, 189 人
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
沼田市民体育館	23, 375 人	51, 219 人	65, 615 人	75, 649 人	77, 946 人
運動公園 野球場	6, 952 人	10, 811 人	13, 544 人	23, 101 人	20, 600 人
運動公園 陸上競技場	5, 969 人	16, 774 人	21, 375 人	21, 385 人	21, 400 人
運動公園 補助競技場	4, 075 人	7, 229 人	10, 703 人	17, 002 人	15, 682 人
運動公園 市民プール	0 人	7, 727 人	11, 026 人	11, 617 人	11, 740 人
利南運動公園 野球場	5, 370 人	12, 822 人	15, 292 人	10, 989 人	11, 277 人
利南運動公園 テニスコート	9, 324 人	15, 496 人	15, 361 人	15, 606 人	23, 512 人
沼田市武道館	6, 171 人	28, 361 人	34, 162 人	34, 966 人	36, 101 人
利根柔剣道場	1, 936 人	5, 068 人	1, 345 人	1, 072 人	1, 080 人
利根園原ふれあい屋内運動場	4, 210 人	6, 727 人	9, 255 人	9, 310 人	9, 971 人
利根農業者トレーニングセンター	3, 730 人	4, 606 人	819 人	25 人	13 人
旧利南中学校運動広場 多目的広場	6, 610 人	9, 565 人	9, 353 人	10, 642 人	14, 510 人
川田運動広場 多目的広場	5, 884 人	8, 562 人	8, 445 人	7, 552 人	8, 765 人
川田運動広場 テニスコート	35 人	482 人	392 人	109 人	11 人
川田運動広場 ゲートボール場	2, 610 人	5, 179 人	4, 758 人	4, 125 人	4, 099 人
ニュースポーツ広場 グラウンド(ターゲットバード) ゴルフコース	200 人	752 人	968 人	604 人	831 人

調査票 1 1

ニュースポーツ広場 ゲートボール場	786人	792人	641人	130人	120人
白沢農民広場	4,779人	5,037人	3,902人	4,053人	9,283人
利根平川運動広場	1,160人	1,500人	1,606人	1,625人	745人
利根老神多目的広場	1,876人	1,985人	3,004人	3,240人	8,056人
利根菌原球技場	582人	311人	2,096人	1,454人	1,124人
利根南部山村広場	1,430人	1,500人	1,620人	1,170人	1,377人
利根南部山村広場テニスコート	2,512人	3,055人	1,499人	1,119人	1,458人
白沢弓道場	1,839人	2,521人	3,266人	3,103人	3,316人
利根トレーニングハウス	3,638人	3,452人	2,135人	4,353人	3,713人
片品村民運動場	1,400人	700人	1,240人	1,180人	廃止
片品村弓道場	33人	348人	160人	75人	30人
片品村東小川体育館	2,637人	3,880人	5,460人	6,220人	6,620人
片品村土出グラウンド	0人	0人	0人	8人	661人
片品村土出体育館	0人	0人	0人	8人	2,375人
片品村花咲グラウンド	0人	0人		0人	1,800人
片品村武尊根体育館	2,200人	2,485人	3,585人	4,335人	3,533人
川場村屋内ゲートボール場	872人	1,392人	1,609人	1,911人	1,693人
川場村武道館(柔道場・剣道場)	1342人	2,114人	2,712人	2,547人	2,407人
川場村弓道場	16人	96人	182人	190人	203人
スポーツジム	1,855人	3,697人	3,745人	4,552人	5,090人
昭和村総合運動公園 多目的グラウンド	0人	0人	0人	8,662人	6,000人
昭和村総合運動公園 野球場	0人	5人	0人	9,913人	6,728人
昭和村総合運動公園 テニスコート	0人	5人	282人	5,126人	3,404人
昭和村総合運動公園 ターゲットバードゴルフ場	0人	3人	0人	444人	561人
昭和村総合運動公園 グラウンドゴルフ場	0人	0人	5人	972人	1,189人
ふれあいグリーンパーク	0人	0人	0人	6,988人	8,064人
昭和村社会体育館	18人	73人	579人	11,803人	11,340人
昭和村多目的屋内運動場	17人	108人	1,514人	15,626人	14,059人
昭和村弓道場	0人	0人	0人	155人	159人
みなかみ町月夜野総合グラウンド 野球場	1,965人	484人	3,337人	3,937人	3,740人
みなかみ町月夜野総合グラウンド サッカー場	4,757人	3,889人	10,141人	15,162人	14,665人
みなかみ町月夜野総合グラウンド バードゴルフ場	6,177人	75人	7,108人	4,101人	5,690人
月夜野緑地施設内運動広場 緑地広場ホッケー場	4,715人	1,695人	9,567人	6,241人	11,172人

調査票 1 1

総合体育館 アリーナ	3,476人	3,337人	9,930人	15,504人	19,169人
総合体育館 トレーニング室	1,056人	1,411人	4,282人	5,460人	5,829人
総合体育館 柔道場	1,334人	572人	5,252人	3,746人	5,112人
総合体育館 剣道場	－	－	－	－	6,812人
みなかみ町月夜野多目的広場 グラウンド ゴルフ	371人	0人	1,996人	1,521人	1,965人
施設利用者数（合計）	137,064人	237,902人	314,868人	400,388人	436,800人

目標の達成度64.0%111.1%147.0%186.9%203.9%

進捗状況	順調
------	----

事業費

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	197,625 千円	203,874 千円	205,241 千円	206,622 千円	208,017 千円
実績（沼田市）	70,238 千円	95,255 千円	111,082 千円	112,826 千円	140,004 千円
実績（片品村）	13,480 千円	17,342 千円	15,504 千円	182,407 千円	28,574 千円
実績（川場村）	11,500 千円	11,210 千円	10,974 千円	10,622 千円	10,622 千円
実績（昭和村）	58,195 千円	21,071 千円	20,527 千円	41,694 千円	321,096 千円
実績（みなかみ町）	29,741 千円	29,747 千円	28,327 千円	21,542 千円	24,956 千円
実績	183,154 千円	174,625 千円	186,414 千円	369,091 千円	525,252 千円

差額-14,471 千円-29,249 千円-18,827 千円162,469 千円317,235 千円

◎「スポーツ施設の相互利用」について					
圏域内のスポーツの振興を図るため、中心市である沼田市と連携町村である片品村、川場村、昭和村及びみなかみ町が設置するスポーツ施設について、住民の相互利用を推進するもの。相互利用の際、利用者は、施設の所在する市、町又は村の住民と同額の使用料で施設を利用でき、本来支払うべき使用料（市外料金等）との差額については、利用者が在住する市町村が負担する。					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	主にZACROSアリーナぬまた（沼田市民体育館）及びクライムテニスコートぬまた（利南運動公園テニスコート）において他町村民の利用を受け入れたほか、町村スポーツ施設における沼田市民の利用も確認された。新型コロナウイルス感染症による施設の利用制限等がありながらも相互利用の取組が認知され始めた。（沼田市）	新型コロナウイルス感染症による施設の利用制限を解除し、通年で利用を再開した。ZACROSアリーナぬまた（沼田市民体育館）、クライムテニスコートぬまた（利南運動公園テニスコート）、サンワ沼田武道館（沼田市武道館）、市民プールにおいて町村の利用者を受け入れた。（沼田市）	ZACROSアリーナぬまた（沼田市民体育館）、クライムテニスコートぬまた（利南運動公園テニスコート）、サンワ沼田武道館（沼田市武道館）、市民プールにおいて町村の利用者を受け入れた。【実績】令和4年度1,618人令和5年度2,331人（沼田市）	ZACROSアリーナぬまた（沼田市民体育館）、クライムテニスコートぬまた（利南運動公園テニスコート）、サンワ沼田武道館（沼田市武道館）、市民プールにおいて町村の利用者を受け入れた。【実績】令和4年度1,618人令和5年度2,331人令和6年度2,435人（沼田市）	ZACROSアリーナぬまた（沼田市民体育館）、クライムテニスコートぬまた（利南運動公園テニスコート）、サンワ沼田武道館（沼田市武道館）、市民プールにおいて町村の利用者を受け入れた。【実績】令和4年度1,618人令和5年度2,331人令和6年度2,435人令和7年度2,653人（沼田市）
「来年度」以降の取組予定	継続して取組の認知度向上と利用促進を図る。	継続して取組の認知度向上と利用促進を図る。	継続して取組の認知度向上と利用促進を図る。	継続して取組の認知度向上と利用促進を図る。	継続して取組の認知度向上と利用促進を図る。

調査票 1 2 - 1

政策分野	(4) 産業振興
連携目標	① 広域観光体制の充実
連携事業	1 広域観光事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域全体の観光 P R 活動や周遊観光の推進、国内外の旅行者獲得等を図るため、圏域自治体、観光協会及び観光事業に携わる各主体などにより広域観光振興体制を整備し、連携して事業を推進する。
------	--



(指標 1) 圏域共同 P R イベントの実施		現状値 R元年度	4回	目標値 R7年度	4回
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
圏域共同 P R イベントの実施	2回	8回	11回	9回	4回
目標の達成度	50. 0%	200. 0%	275. 0%	225. 0%	100. 0%
進捗状況	順調				

事業費					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	183, 227 千円	183, 227 千円	183, 227 千円	183, 227 千円	183, 227 千円
実績 (沼田市)	37, 476 千円	47, 394 千円	45, 673 千円	47, 974 千円	45, 051 千円
実績 (片品村)	12 千円	49 千円	68 千円	388 千円	817 千円
実績 (川場村)	8 千円	33 千円	48 千円	39 千円	15 千円
実績 (昭和村)	312 千円	222 千円	239 千円	304 千円	587 千円
実績 (みなかみ町)	4, 447 千円	5, 234 千円	5, 000 千円	6, 315 千円	6, 850 千円
実績	42, 255 千円	52, 932 千円	51, 028 千円	55, 020 千円	53, 320 千円
差額	-140, 972 千円	-130, 295 千円	-132, 199 千円	-128, 207 千円	-129, 907 千円

◎「広域観光事業」について					
利根沼田振興局、利根沼田管内観光協会と連携を行い、おもてなしイベントの開催や出展で利根沼田観光PRを行っている。					

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	合同事業として4月、SL運行に併せてみなかみ駅においておもてなしイベントを実施。 7月、ららん藤岡においてブース出展しPRイベントを実施。新型コロナウイルス感染拡大のため例年より規模縮小して実施。	合同事業として4月～10月にかけてSL運行に併せてみなかみ駅においておもてなしイベントを実施。11月に上毛高原駅にて40周年感謝祭イベントを実施。 7月にららん藤岡、1月に太田強戸PAにおいてブース出展しPRイベントを実施。	合同事業として4月～11月にかけてSL運行に併せてみなかみ駅においておもてなしイベントを実施。 7月にららん藤岡、11月にイオンモール太田、1月に太田強戸PAにおいてブース出展しPRイベントを実施。	合同事業として4月～11月にかけてSL運行に併せてみなかみ駅においておもてなしイベントを実施。 8月にららん藤岡、10月にイオンモール太田、2月に太田強戸PAにおいてブース出展しPRイベントを実施。	合同事業として5月にSL運行に併せてみなかみ駅においておもてなしイベントに参加した。 また7月にはトヨタパーツショー、12月には明治安田生命群馬県フェア、2月には日本橋にて物産展を兼ねたPRイベントを都内で実施した。
「来年度」以降の取組予定	コロナによりイベント自粛していたが回数を増やし、またターゲット層を意識したプロモーション等を展開する。	R4年度と同等数のイベント参加でPR活動を行う。 更にターゲット層を意識したプロモーションを展開する。	R5年度と同等数のイベント参加でPR活動を行うのに加え包括連携をしているトヨタパーツショーへの出展する。 更にターゲット層を意識したプロモーションを展開する。	R6年度と同等数のイベント参加でPR活動を行うのに加え、包括連携をしているトヨタパーツショーへの出展も継続して行い、更にターゲット層を意識したプロモーションを展開する。	回数よりもよりPR効果の高いイベントに参加することに加え、包括連携をしているトヨタパーツショーへの出展も継続して行い、更にターゲット層を意識したプロモーションを展開する。

調査票 1 2 - 2

政策分野	(4) 産業振興
連携目標	① 広域観光体制の充実
連携事業	1 広域観光事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域内の観光資源の発掘及び地場産品の開発のため、外部人材を招へいし、新商品等開発支援事業を実施する。
------	--



(指標 2) 新商品等開発支援事業参加事業者数		現状値 R4年度	0者	目標値 R7年度	35者
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
参加事業者数			31者	29者	19者
目標の達成度			88. 6%	82. 9%	54. 3%
進捗状況		やや遅れ			

(指標 3) 新たな観光資源及び地場産品の開発数		現状値 R4年度	0点	目標値 R7年度	8点
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
新たな観光資源及び地場産品の開発数			8点	5点	5点
目標の達成度			100. 0%	62. 5%	62. 5%
進捗状況		やや順調			

事業費					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込			7,150 千円	7,150 千円	7,150 千円
実績（沼田市）			6,444 千円	6,473 千円	6,545 千円
実績（片品村）			250 千円	250 千円	250 千円
実績（川場村）			250 千円	250 千円	250 千円
実績（昭和村）			250 千円	250 千円	250 千円
実績（みなかみ町）			250 千円	250 千円	250 千円
実績	千円	千円	7,444 千円	7,473 千円	7,545 千円
差額			294 千円	323 千円	395 千円

◎「新商品等開発支援事業」について					
圏域内の観光資源の発掘及び地場産品の開発のため、外部人材を招へいし「群馬利根沼田の宝物」を開催するもの。					

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果			延べ31事業者がセミナーに参加し、自社の商品開発に有益な知見を得たほか、8商品が地方大会に出場。うち5商品が全国大会に出場し販路開拓の機会を得たほか、1商品が全国大会の部門審査にてグランプリ、グランドグランプリにて第2位を獲得。世界大会への出場権を得て、海外への販路開拓の機会を得た。	延べ29事業者がセミナーに参加し、自社の商品開発に有益な知見を得たほか、5商品が地方大会に出場。うち3商品が全国大会に出場し販路開拓の機会を得たほか、2商品が全国大会の部門審査にて準グランプリを獲得した。	延べ19事業者がセミナーに参加し、自社の商品開発に有益な知見を得たほか、5商品が地方大会に出場。うち2商品が全国大会に出場し販路開拓の機会を得たほか、1商品が全国大会の部門審査にて準グランプリを獲得、1商品が審査員特別賞を獲得した。
「来年度」以降の取組予定			令和6年7月～10月にセミナーを開催。11月に地方大会を開催予定。	令和7年8月～10月セミナーを開催。11月に地方大会を開催予定。	

調査票 1 3

政策分野	(5) 環境・衛生
連携目標	① ごみ処理施設等の広域利用
連携事業	1 処理施設の集約化

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域内住民の環境衛生の向上と施設の効率化を図るため、圏域自治体により協議、検討を行い、ゴミ処理施設の集約化を図る。
------	---

(指標 1) 利根沼田ブロック一般廃棄物処理広域化協議会開催日数		現状値 R元年度	3日	目標値 R7年度	3日
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
広域化協議会開催日数	4日	4日	11日	17日	15日
目標の達成度	133. 3%	133. 3%	366. 7%	566. 7%	500. 0%
進捗状況	順調				

事業費					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	0千円	0千円	5, 000 千円	5, 000 千円	10, 000 千円
実績（沼田市）	318千円	551 千円	27, 717 千円	30, 088 千円	33, 763 千円
実績（片品村）	318千円	551 千円	5, 738 千円	6, 241 千円	6, 969 千円
実績（川場村）	318千円	551 千円	4, 859 千円	5, 288 千円	5, 934 千円
実績（昭和村）	318千円	551 千円	6, 876 千円	7, 493 千円	8, 358 千円
実績（みなかみ町）	318千円	551 千円	14, 021 千円	15, 188 千円	16, 966 千円
実績	1, 590 千円	2, 755 千円	59, 211 千円	64, 298 千円	71, 990 千円
差額	1, 590 千円	2, 755 千円	54, 211 千円	59, 298 千円	61, 990 千円

◎「ごみ処理施設等」について

現在、圏域内に沼田市外二箇村清掃工場（所在地：沼田市白岩町226番地）及び上川田最終処分場（所在地：沼田市上川田町日影地内）、尾瀬クリーンセンター（所在地：利根郡片品村大字菅沼251番地10）、奥利根アメニティパーク（所在地：利根郡みなかみ町布施2806-1）、みなかみ町資源リサイクルセンター（所在地：利根郡みなかみ町西峰須川258-5）の5施設がある。
これらのごみ処理施設の集約化に向け協議・検討中。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	広域化に向け協議会を定期的に開催することができた。また、担当職員によるワーキンググループを設置し、計6回の会議により各市町村間の認識を共有することができた。	広域化協議会を定期的に開催することができた。また、5市町村間において「一般廃棄物処理広域化に関する基本合意書」及び「一般廃棄物処理広域化に関する協定書」を締結し広域化処理を本格的に推進することとなった。	広域化施設設備協議会（専門部会、幹事会）にすべて参加することができた。また、広域化施設設備協議会において、広域化基本構想及び循環型社会形成推進計画の策定、建設候補地の選定を行った。	広域化施設設備協議会（専門部会、幹事会）にすべて参加することができた。建設候補地の地質調査や生活環境影響調査を実施できた。吾妻地域との一般廃棄物処理の相互支援に関する包括協定を締結できた。	広域化施設設備協議会（専門部会、幹事会）にすべて参加することができた。新ごみ処理施設整備基本計画（素案）説明会を5市町村において実施し、利根沼田新ごみ処理施設整備基本計画を策定し、建設地を決定することができた。
「来年度」以降の取組予定	各市町村担当者が常勤等により組織するプロジェクト・チームを設立し、ごみ処理施設の広域化に向け、より一層の事業推進を図る。	「一般廃棄物処理広域化に関する基本合意書」に基づき「利根沼田一般廃棄物処理広域化施設整備協議会」を設置し、利根沼田広域市町村圏振興整備組合において事業推進を行っていく。	広域化施設設備協議会（専門部会、幹事会）に参加するとともに、広域化施設設備協議会において、ごみ処理基本計画策定及び建設候補地の測量・地質調査、生活環境影響調査の実施を予定している。	広域化施設設備協議会（専門部会、幹事会）に参加するとともに、広域化施設設備協議会において、維持管理費負担金の負担割合について決定していきたい。また、広域ごみ処理施設建設工事事業者選定を決定していきたい。また、現清掃工場内の車庫棟の解体や新施設搬入道の設計・工事に着手したい。	広域化施設設備協議会（専門部会、幹事会）に参加するとともに、広域化施設設備協議会において、広域ごみ処理施設建設工事事業者選定を決定していきたい。また、現清掃工場内の車庫棟の解体や新施設搬入道の設計・工事に着手したい。

調査票 1 4

政策分野	(5) 環境・衛生
連携目標	② 火葬場の広域利用
連携事業	1 火葬場の集約化

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域内住民の環境衛生の向上と施設の効率化を図るため、個別に運営している水上、新治火葬場のぬまた聖苑への集約化に向けて検討を進める。
------	---



(指標 1) 連携のための検討会議開催回数		現状値 R元年度	1回	目標値 R7年度	1回
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
連携のための検討会議開催回数	0回	0回	0回	0回	0回

目標の達成度 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0%

進捗状況	遅れ
------	----

事業費

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	46,809 千円	46,809 千円	46,809 千円	46,809 千円	46,809 千円
実績（沼田市）	32,954 千円	30,505 千円	27,308 千円	31,840 千円	28,984 千円
実績（片品村）	2,973 千円	2,688 千円	2,406 千円	2,806 千円	2,725 千円
実績（川場村）	2,466 千円	2,343 千円	2,097 千円	2,446 千円	2,375 千円
実績（昭和村）	4,972 千円	4,677 千円	4,187 千円	4,881 千円	4,444 千円
実績（みなかみ町）	6,354 千円	5,818 千円	5,209 千円	6,073 千円	5,529 千円
実績	49,719 千円	46,031 千円	41,207 千円	48,046 千円	44,057 千円

差額 2,910 千円 -778 千円 -5,602 千円 1,237 千円 -2,752 千円

◎「火葬場」について

現在、火葬場は沼田市に沼田聖苑（所在地：沼田市上沼須町502番地）があり、みなかみ町には水上火葬場（所在地：みなかみ町湯原990番地2）と泉峰苑（旧：新治火葬場、所在地：みなかみ町須川甲101）がある。
沼田聖苑は、利根沼田広域市町村圏振興整備組合が管理・運営を行っており、圏域内の構成市町村（みなかみ町は旧月夜野町の区域）に住所を置く方の使用料は、構成市町村外の方よりも安くなっている。
集約化について検討中。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	水上、新治の火葬場は修繕をしながら利用を継続しており、今後も活用していく。	水上火葬場及び泉峰苑（旧新治火葬場）を所管する、みなかみ町役場と集約化について協議を行った。当面は両施設ともに活用していく方針であるが、住民ニーズや施設の老朽化の状況により集約化についても検討していく。	水上、新治の火葬場は修繕をしながら利用を継続しており、今後も活用していく。	水上、新治の火葬場は修繕をしながら利用を継続しており、今後も活用していく。	水上、新治の火葬場は修繕をしながら利用を継続しており、今後も活用していく。
「来年度」以降の取組予定	現時点で集約化の目途は立っていないが、検討を続けていく。	現時点では集約化の目途は立っていないが、みなかみ町との協議を続けて行く。	現時点で集約化の目途は立っていないが、検討を続けていく。	現時点で集約化の目途は立っていないが、検討を続けていく。	現時点で集約化の目途は立っていないが、検討を続けていく。

調査票 1 5

政策分野	(6) その他
連携目標	① トレーニング施設の広域利用
連携事業	1 テラス沼田「トレーニングプラザ」の広域利用事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○			○	

事業内容	圏域内住民の健康づくりと介護予防の推進等を目的として、テラス沼田にトレーニングプラザを設置、運営し、広域的な利用を促進する。
------	--



(指標 1) トレーニングプラザ月会員数		現状値 R元年度	273人	目標値 R7年度	500人
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
月会員数	314人	335人	366人	390人	405人
目標の達成度	62.8%	67.0%	73.2%	78.0%	81.0%
進捗状況	順調				

(指標 2) トレーニングプラザ年間利用回数〔延べ数〕		現状値 R元年度	35,807回	目標値 R7年度	70,000回
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
年間利用回数	27,449回	34,151回	35,924回	38,666回	37,446回
目標の達成度	39.2%	48.8%	51.3%	55.2%	53.5%
進捗状況	やや遅れ				

調査票 1 5

事業費					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	28,804 千円	27,736 千円	27,736 千円	20,091 千円	20,118 千円
実績（沼田市）	28,600 千円	27,500 千円	27,500 千円	19,800 千円	19,800 千円
実績（片品村）	—	—	—	—	—
実績（川場村）	—	—	—	—	—
実績（昭和村）	88 千円	179 千円	211 千円	266 千円	289 千円
実績（みなかみ町）	—	—	—	—	—
実績	28,688 千円	27,679 千円	27,711 千円	20,066 千円	20,089 千円
差額	-116 千円	-57 千円	-25 千円	-25 千円	-29 千円

◎「トレーニングプラザ」について

所在地：沼田市下之町888番地 テラス沼田7階
トレーニングマシンの利用やスタジオでエクササイズが出来る。
現在は昭和村と連携し、昭和村の利用者も沼田市内の利用者と同額で利用できる。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	圏域内住民の健康づくりの推進として、昭和村の利用者について、沼田市内の利用者と同額にて施設を利用することが出来た。	圏域内住民の健康づくりの推進として、昭和村の利用者について、昨年度より約3割の利用増加とすることが出来た。	圏域内住民の健康づくりの推進として、昭和村の利用者について、昨年度より約2割の利用増加とすることが出来た。	圏域内住民の健康づくりの推進として、昭和村の利用者について、昨年度より約2割の利用増加とすることが出来た。	圏域内住民の健康づくりの推進として、昭和村の利用者について、昨年度より約2割の利用増加とすることが出来た。
「来年度」以降の取組予定	昭和村以外の町村とも連携し、圏域内住民の健康づくりを推進する。	昭和村以外の町村とも連携し、圏域内住民の健康づくりを推進する。	昭和村以外の町村とも連携し、圏域内住民の健康づくりを推進する。	昭和村以外の町村とも連携し、圏域内住民の健康づくりを推進する。	昭和村以外の町村とも連携し、圏域内住民の健康づくりを推進する。

調査票 1 6

政策分野	(6) その他
連携目標	② 消費生活相談体制の強化
連携事業	1 消費生活センター運営事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域内住民の消費生活の安全と安心を確保するため、消費生活センターを設置し、消費生活相談等を受け付けるほか、講習会、講演会等の開催による啓発活動を実施する。
------	---



(指標 1) 相談解決率		現状値 R元年度	97%	目標値 R7年度	100%
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
相談回数 (沼田市の方)	279回	312回	397回	351回	364回
相談回数 (片品村の方)	13回	11回	8回	10回	19回
相談回数 (川場村の方)	7回	6回	12回	7回	6回
相談回数 (昭和村の方)	22回	29回	24回	21回	25回
相談回数 (みなかみ町の方)	51回	62回	50回	75回	74回
相談回数 (合計)	372回	420回	491回	464回	488回
うち、解決回数	371回	419回	486回	462回	485回
相談解決率 [%]	99.7%	99.8%	99.0%	99.6%	99.4%
目標の達成度 [%]	99.7%	99.8%	99.0%	99.6%	99.4%
進捗状況	順調				

調査票 1 6

事業費					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	14, 232 千円	14, 232 千円	14, 232 千円	14, 232 千円	14, 232 千円
実績（沼田市）	6, 797 千円	7, 076 千円	6, 578 千円	6, 649 千円	7, 417 千円
実績（片品村）	581 千円	588 千円	566 千円	622 千円	702 千円
実績（川場村）	479 千円	490 千円	471 千円	521 千円	586 千円
実績（昭和村）	865 千円	872 千円	855 千円	956 千円	1, 091 千円
実績（みなかみ町）	1, 932 千円	1, 957 千円	1, 888 千円	2, 085 千円	2, 355 千円
実績	10, 654 千円	10, 983 千円	10, 358 千円	10, 833 千円	12, 151 千円
差額	-3, 578 千円	-3, 249 千円	-3, 874 千円	-3, 399 千円	-2, 081 千円

◎「消費生活センター」について					
所在地：沼田市下之町 8 8 8 番地 TERRACE 沼田 3 階 開所時間：平日 9：00～12：00、13：00～16：00（年末年始を除く） 沼田市消費生活センターは、消費生活全般に関する苦情や相談、問い合わせなどに対し、消費生活相談員 3 名が消費者保護の観点から助言やあっせんなどを行っている。					

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	沼田市消費生活センターにおいて、消費者から寄せられた相談に対し、助言やあっせんなどを行った。	沼田市消費生活センターにおいて、消費者から寄せられた相談に対し、助言やあっせんなどを行った。	沼田市消費生活センターにおいて、消費者から寄せられた相談に対し、助言やあっせんなどを行った。	沼田市消費生活センターにおいて、消費者から寄せられた相談に対し、助言やあっせんなどを行った。	沼田市消費生活センターにおいて、消費者から寄せられた相談に対し、助言やあっせんなどを行った。
「来年度」以降の取組予定	沼田市消費生活センターにおいて、消費者から寄せられる相談に対し、助言やあっせんなどを行う。	沼田市消費生活センターにおいて、消費者から寄せられる相談に対し、助言やあっせんなどを行う。	沼田市消費生活センターにおいて、消費者から寄せられる相談に対し、助言やあっせんなどを行う。	沼田市消費生活センターにおいて、消費者から寄せられる相談に対し、助言やあっせんなどを行う。	沼田市消費生活センターにおいて、消費者から寄せられる相談に対し、助言やあっせんなどを行う。

調査票 1 7

政策分野	(1) 地域公共交通
連携目標	① 地域公共交通の維持確保と利用促進
連携事業	1 地域公共交通対策事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域住民の交通手段の維持・確保のため、地域内における公共交通の課題解決に向けて調査・研究を行うとともに、地域間の交通ネットワークを整備し、委託路線バスの運行補助等を行う。
------	---



(指標 1) 公共交通の年間利用者数 [延べ数]		現状値 R元年度	97,350人	目標値 R7年度	106,000人	
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
年間利用者数（沼田市）	37,197人	29,010人	33,010人	36,514人	35,644人	
年間利用者数（片品村）	6,002人	5,754人	5,457人	5,229人	4,844人	
年間利用者数（川場村）	32,250人	36,309人	35,112人	32,891人	31,724人	
年間利用者数（昭和村）	28,444人	25,159人	25,466人	24,149人	10,784人	
年間利用者数（みなかみ町）	—	—	—	—	—	
年間利用者数（合計）	103,893人	96,232人	99,045人	98,783人	82,996人	
目標の達成度		98.0%	90.8%	93.4%	93.2%	78.3%
進捗状況		やや順調				

(指標 2) 担当省会議の開催		現状値 R元年度	0回	目標値 R7年度	1回	
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
担当省会議の開催	0回	1回	0回	1回	1回	
目標の達成度		0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%
進捗状況		順調				

事業費					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	112,750 千円	112,800 千円	113,000 千円	113,500 千円	114,000 千円
実績（沼田市）	91,297 千円	92,661 千円	92,208 千円	95,020 千円	94,305 千円
実績（片品村）	15,554 千円	18,013 千円	16,516 千円	15,731 千円	15,196 千円
実績（川場村）	14,976 千円	15,201 千円	18,044 千円	20,113 千円	20,039 千円
実績（昭和村）	27,978 千円	28,578 千円	31,540 千円	27,296 千円	28,528 千円
実績（みなかみ町）	—	—	—	—	—
実績	149,805 千円	154,453 千円	158,308 千円	158,160 千円	158,068 千円
差額	37,055 千円	41,653 千円	45,308 千円	44,660 千円	44,068 千円

◎「地域公共交通」について

市町村が運行し、かつ、自治体間を運行する路線バス（川場村運行路線、昭和村運行路線）に対し、経由する自治体（沼田市）が運行費の一部負担をしている。

	R3年度	R4年度		R6年度	R7年度
「本年度」の成果	川場村路線及び昭和村路線の運行を継続した。	川場村路線及び昭和村路線の運行を継続した。	沼田市においては、定時定路線を一部残しつつ、デマンドバスを導入した。また、川場村路線及び昭和村路線の運行を継続した。	沼田市においては、定時定路線を一部残しつつ、デマンドバスを導入している。また、川場村路線及び昭和村路線の運行を継続した。	沼田市においては、定時定路線を一部残しつつ、デマンドバスを導入している。また、川場村路線及び昭和村路線の運行を継続した。また、国交省の補助事業である「モビリティ人材育成事業」を実施し、公共交通に対する課題意識を共有し、相互理解を深めることで、今後の推進体制の土壌を構築することができた。
「来年度」以降の取組予定	担当省会議を開催し、圏域での交通ネットワークの形成を検討する。	担当省会議を開催し、圏域での交通ネットワークの形成を検討する。	地域公共交通の維持確保を図っていく。また、担当省会議を開催し、圏域での交通ネットワークの形成を検討する。	地域公共交通の維持確保を図っていく。また、担当省会議を開催し、圏域での交通ネットワークの形成を検討する。	地域公共交通の維持確保を図っていく。また、担当省会議を開催し、圏域での交通ネットワークの形成を検討する。

調査票 1 8

政策分野	(2) 交流移住
連携目標	① 移住・定住の促進
連携事業	1 移住・定住促進事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域自治体が連携して、移住希望者が必要とする情報及び支援を把握し、ニーズに合わせたサポートを行うとともに、相談会や体験会などを実施する。
------	--



(指標 1) 圏域合同移住イベント開催回数		現状値 R元年度	0回	目標値 R7年度	5回
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
圏域合同移住イベント開催回数	1回	1回	2回	1回	1回
目標の達成度	20. 0%	20. 0%	40. 0%	20. 0%	20. 0%
進捗状況	遅れ				

(指標 2) 移住者数		現状値 R元年度	51人	目標値 R7年度	50人
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
移住者数 (沼田市)	4人	19人	15人	19人	15人
移住者数 (片品村)	8人	3人	7人	5人	3人
移住者数 (川場村)	27人	24人	44人	20人	36人
移住者数 (昭和村)	10人	17人	3人	3人	6人
移住者数 (みなかみ町)	64人	46人	16人	21人	41人
合計	113人	109人	85人	68人	101人
目標の達成度	226. 0%	218. 0%	170. 0%	136. 0%	202. 0%
進捗状況	順調				

事業費					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	18, 074 千円	18, 074 千円	18, 074 千円	18, 074 千円	18, 074 千円
実績（沼田市）	2, 904 千円	4, 655 千円	5, 535 千円	5, 735 千円	7, 093 千円
実績（片品村）	668 千円	585 千円	1, 000 千円	1, 898 千円	2, 212 千円
実績（川場村）	573 千円	6, 198 千円	10, 527 千円	10, 792 千円	21, 965 千円
実績（昭和村）	670 千円	868 千円	521 千円	1, 013 千円	76 千円
実績（みなかみ町）	14, 780 千円	40, 085 千円	17, 245 千円	28, 819 千円	33, 173 千円
実績	19, 595 千円	52, 391 千円	34, 828 千円	48, 257 千円	64, 519 千円
差額	1, 521 千円	34, 317 千円	16, 754 千円	30, 183 千円	46, 445 千円

◎「移住・定住促進事業」について

移住希望者が必要とする情報及び支援を把握し、ニーズに合わせたサポートを行うとともに、相談会や体験会などを実施することで、移住の支援を行っている。

	R3年度	R4年度		R6年度	R7年度
「本年度」の成果	利根沼田行政県税事務所主催によるみなかみ町と合同のオンラインセミナー「群馬県オンライン移住セミナー・ぐんまのてっぺん！利根沼田地域移住者が教える絶品地元メシ！」を実施し、43名の視聴者のうち39名がアンケートに回答。食を通じた利根沼田の魅力を伝えることができた。	みなかみ町との合同セミナーを開催し、最大40名の視聴者が参加したことをはじめ、都内の移住相談への参加や、トライアルハウス利用者72名などへの移住コンシェルジュによるアテンドや相談を実施し、年間125組の相談対応を行った。	利根沼田行政県税事務所主催による都内での利根沼田合同セミナーでは合計26名が来場した。また、みなかみ町と合同のオンライン「ペット移住セミナー」にはを実施し20名の視聴者が参加。ペットとの移住について在住の方の実体験を伝えることができた。都内の移住相談会への参加や、トライアルハウス利用者54名などへの移住コンシェルジュ等によるアテンドや相談を実施し、年間149組の相談対応を行った。	利根沼田行政県税事務所主催による利根沼田合同セミナーが開催され、合計16名の来場がありました。また、都内で開催される相談会への参加やオンライン相談等も実施し、256件の相談に対応しました。	利根沼田行政県税事務所主催による利根沼田合同セミナーが開催され、合計10名の来場がありました。また、都内で開催される相談会への参加やオンライン相談等も実施し、197件の相談に対応しました。

「来年度」以降の取組予定	市単独で行うよりも、広域で行う方が対象者が増えることと、コロナによる感染症対策でのオンライン配信のため、個別の面談より参加し易かったと思われるため、今後も参加していきたい。	セミナーについては、市単独で行うよりも、広域で行う方が対象者が増えることと、ネット配信のため個別の面談より参加し易かったと思われるため、今後も実施していくと共にコロナ後の首都圏での移住相談にも参加していききたい。	セミナーについては、市単独で行うよりも、広域で行う方が対象者が増えることと、ネット配信のため個別の面談より参加し易かったと思われるため、今後も共同で実施していくと共に首都圏での移住相談にも参加していききたい。広域パンフレットの印刷物がないので、内容の見直しと作成を働きかけていききたい。	セミナーについては、市単独で行うよりも、広域で行う事により対象者が増えることと、ネット配信のため個別の面談より参加し易かったと思われるため、今後も共同で実施していくと共に首都圏での移住相談にも参加していききたい。広域パンフレットの印刷物がないので、内容の見直しと作成を働きかけていききたい。	セミナーについては、市単独で行うよりも、広域で行う事により対象者が増えるので、今後も共同で実施していくと共に首都圏での移住相談にも積極的に参加していききたい。
---------------------	---	---	--	--	--

調査票 19

政策分野	(1) 人材の育成
連携目標	① 圏域内自治体職員の交流・合同研修
連携事業	1 合同研修事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域内自治体職員の能力及び資質の向上を図り、組織の活性化と職員を育成するため、合同で研修会等を実施する。
------	--

(指標1) 研修実施回数		現状値 R元年度	0回	目標値 R7年度	3回
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
研修実施回数	0回	1回	1回	1回	1回
目標の達成度	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%

進捗状況	やや遅れ
------	------

(指標2) 交流研修参加職員数 [延べ数]		現状値 R元年度	0人	目標値 R7年度	285人
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
参加職員数 (沼田市)	0人	32人	17人	9人	12人
参加職員数 (片品村)	0人	5人	2人	5人	3人
参加職員数 (川場村)	0人	2人	3人	1人	0人
参加職員数 (昭和村)	0人	6人	5人	3人	7人
参加職員数 (みなかみ町)	0人	6人	8人	4人	7人
参加職員数 (合計)	0人	51人	35人	22人	29人
目標の達成度	0.0%	17.9%	12.3%	7.7%	10.2%

進捗状況	遅れ
------	----

調査票 1 9

事業費					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	60 千円	120 千円	120 千円	320 千円	320 千円
実績（沼田市）	0千円	36千円	0千円	0千円	0千円
実績（片品村）	0千円	5千円	0千円	0千円	0千円
実績（川場村）	0千円	2千円	0千円	0千円	0千円
実績（昭和村）	0千円	6千円	0千円	0千円	0千円
実績（みなかみ町）	0千円	6千円	0千円	0千円	0千円
実績	0千円	55 千円	0千円	0千円	千円
差額	-60 千円	-65 千円	-120 千円	-320 千円	-320 千円

◎「合同研修」について					
自治体間の事業連携の機会を創出することにより、職員が各自治体の優れた知見を習得し、相互に啓発しあうことで多様化、複雑化及び深化する住民サービスに対応できるようにする。 また、人的ネットワークの拡大を図る。					

	R3年度	R4年度		R6年度	R7年度
「本年度」の成果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむなく研修を中止とした。	圏域内の新規採用職員が合同研修でグループワークに取り組むことにより、交流を図ることができた。	圏域内の新規採用職員が合同研修でグループワークに取り組むことにより、交流を図ることができた。	圏域内の新規採用職員が合同で研修を受講することにより、交流を図ることができた。	研修内容をグループワークを行うものにしたことで、圏域内の新規採用職員間の交流を図ることができた。
「来年度」以降の取組予定	研修テーマの検討を進めつつ、各種研修事業を実施する。	研修テーマの検討を進めつつ、各種研修事業を実施する。	研修テーマの検討を進めつつ、各種研修事業を実施する。	研修テーマの検討を進めつつ、各種研修事業を実施する。	研修テーマの検討を進めつつ、各種研修事業を実施する。